

経理・税務



● 下半期の重要課題への取組み

3月決算の企業では、10月から下半期に入ります。上半期の業績をチェックし、年度収支計画の進捗状況を確認しましょう。新たな課題や見直しが必要な事項があれば、早急に対策を検討します。

● 年末にかけての資金需要と資金繰りのチェック

これから年末にかけては、大きな資金需要（年末商戦用の在庫の増殖と販売促進、賞与の支払いなど）が発生し、接待や贈答関係の小口の諸経費も増える時期です。

例年の実績や下半期の売上計画・利益計画を勘案し、他部署の協力も得ながら、その内容と資金手当ての方法を綿密にチェックしましょう。

検討の結果、新たに借入れが必要となる場合は、早めに取引金融機関に働きかけることが大切です。

● 3月決算法人の中間申告の準備

3月決算で中間申告が必要な法人は、11月の決算応当日までに中間申告と納税を行います。

法人税の中間申告には、前事業年度の申告額の半分を納付する予定納税と、半年間を1事業年度とみなして仮決算を行ない、納付税額を算出・納付する方法があります。

ただし、仮決算した場合の法人税額が前期基準額（前事業年度の確定法人税額の2分の1）を超える場合は、予定納税による方法に限られています。

● 販促費用の支出

秋の行楽シーズンから年末に向けては商戦が活発化し、さまざまな販促企画も実施されます。

通常、経理部門がこうした販促企画に直接的に関わることは少ないと思われますが、営業部門に資金面や節税面のアドバイスをするなど側面から支援することも大切です。

また、経理部門では、広告宣伝費、消耗品費、交際費など、混同しやすい勘定科目について、いま一度ルールを確認しておきましょう。

● 税務調査への対応

税務当局は7月から新しい事務年度に入り、秋口から税務調査が本格化するため、10月は1年のなかでも調査の多い時期といえます。業績に関わらず、いつ税務調査を受けても対応できるように、証拠資料などを整備しておきましょう。

人事・労務



● 社会保険適用拡大への対応

ことし10月から、厚生年金保険の被保険者数51～100人の企業でも、週の所定労働時間が20時間以上であること

- ・ 所定内賃金が月額8万8000円以上であること
- ・ 2か月を超える雇用の見込みがあること

- ・ 学生でないこと

を満たす従業員（短時間労働者）の社会保険加入が義務化されます。

手当支給や労働時間延長等の取組みに向けて、企業・従業員の負担を減らす各種支援策が展開されているので、確認しておきましょう。

● 健保・厚年の標準報酬の切替え

7月に提出した「報酬月額算定基礎届」に基づく定時決定で、9月から健康保険・厚生年金保険の標準報酬が切り替わります。

切替え後の標準報酬月額に基づく保険料は、原則として10月に支給する給与から徴収を開始します。手続きや金額等を改めて確認しましょう。

10 October

月の事務ごよみ

●来年度の採用内定とフォロー

ことし4月に内閣官房から発表された「2025年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請等について」によると、内定出しは10月1日以降が原則です。

来春新卒予定者に採用の内定を出すにあたっては、入社誓約書を同封して内定通知書を送り、記名した誓約書を返送してもらうとよいでしょう。

また、入社をより確実にするため、定期的な連絡、社内報の送付、懇親会の実施など、積極的なフォローに努めてください。

●社員の異動に伴う事務手続き

10月は、人事異動の多い月です。

同一職場内の異動であれば、特に法定の手続きはありませんが、住所地が変わる転勤や出向、扶養家族に変更があった場合は、社会保険関係の法定手続き、諸手当（通勤手当・住宅手当・家族手当など）の変更に關する事務などが発生します。貸与物品の返還や異動先への事務引継ぎも必要です。

●全国労働衛生週間

10月1日から「全国労働衛生週間」がスタートします。今年度のスローガンは「推してます みんな笑顔の健康職場」です。この機会に、快適な職場環境づくりに努め、健康管理意識を

啓発するとともに、自社の安全衛生生活を見直しましょう。

全国労働衛生週間を活用し、過労死の防止を含めた長時間労働による健康障害の防止対策や、メンタルヘルス対策の推進、病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立をサポートする仕組みづくりなどに取り組みしましょう。

●健康診断の実施

秋に健康診断を実施する企業では、その要領について社員に周知徹底します。当日都合がつかない社員には別の受診日を設定し、受診モレが発生しないように努めましょう。

●ストレスチェックの実施

企業のメンタルヘルス対策として、従業員数50名以上の事業場では、1年に1回、ストレスチェックを実施することが義務付けられています（当面の間、従業員数50名未満の事業場については努力義務）。

結果は、実施者から本人に直接通知されます。本人の同意なく事業者がその結果を知ることではできません。

通知を受けて一定の要件に該当した労働者から申し出があった場合、事業者には医師による面接指導を実施する義務があります。さらに、面接指導の結果に基づいて医師から意見を聴取し、必要に応じて労働時間の短縮や、

就業場所の変更といった就業上の措置をとらなければなりません。

なお、本人の同意を得て取得したストレスチェックの結果の記録は、5年間の保存義務があります。

●冬季賞与の資料・情報の収集

冬季賞与を支給する予定の会社は、検討にあたって資料・情報の収集を始めた時期です。

各種媒体のほか、商工会議所や同業組合、取引銀行の経営相談所などの資料・情報で、地域や業界の相場を調べておきましょう。

また、支給原資についても早めを確認し、売掛金の回収を強化するなど、資金確保の方法を検討しておきます。

●年末商戦の人手の確保

ことし7月の有効求人倍率（季節調整値）は1・24倍、パートの有効求人倍率は同1・20倍と下落傾向です。

とはいえ、年末の繁忙期に向けてパートやアルバイトを確保する必要があります。会社は、早めに手配しましょう。

●「延納」を申請した場合の労働保険料第2期分の納付期限

労働保険の概算保険料は一括納付が原則ですが、年度更新の際に「延納」の申請をすることにより、3期に分割して納付することが可能です。

ことしの第2期分の納付期限は10月

31日です。所轄の労働局から納付書が送られてきますので、内容を確認し、期日までに納付しましょう。

●労働者死傷病（軽度）報告の提出

7月～9月の3か月間に発生した業務中の軽度の事故や疾病により、社員が3日以下の休業をしたときは、10月31日までに労働者死傷病（軽度）報告を、管轄の労働基準監督署に提出する必要があります。

なお、4日以上以上の休業が発生した場合には、その都度、労働基準監督署に報告しなければなりません。

2025年1月1日より、労働者死傷病報告の電子申請が義務化される点にも注意が必要です。

総務・法務



●衣替えの実施

社員に事務服・作業服を貸与している事業場では、冬服への衣替えの実施が多い時期です。これを機に社内的身だしなみや服装のコードについても再確認するとよいでしょう。

●社内外の慶事への対応

秋は慶事の多いシーズンです。社員や、懇意にしている取引先担当者の結

婚などの慶事に際して、祝いをいくら包めばよいかわ迷うこともあるでしょう。そこで、慶弔について取扱い全般の規程をつくっておくと便利です。

贈答に際しても、相手に不快感を与えないよう、基本的な事項を押さえたうえで、柔軟に対応しましょう。

●社内レクリエーションの実施

気候が穏やかになり、社員旅行や運動会など、社内レクリエーションが盛んに行なわれる季節になりました。

レクリエーションの実施に際しては、詳細を記した資料をきちんと保存しておきましょう。

かかった費用は、社会通念上相当な金額であれば、福利厚生費や交際費等とみなされ、税務調査の際に有効な証拠資料となります。

●歳暮・年賀状の準備

歳暮に関しては、昨年の歳暮とことしの中元の贈答実績のほか、取引先一覧などをもとに、贈り先の住所や役職等を更新・確認しながらモレのないようにリストアップを行ないます。

あわせて、贈答品選びも早めに取りかかるようにしましょう。

また、2025年用の年賀はがきは11月1日から販売されます。

各部署の必要枚数を把握し、購入予定数を取りまとめておきます。

●郵便料金の値上げ

ことしの10月1日より、郵便料金が定形郵便物は110円、通常はがきは85円に値上げされます。そのほかの郵便物の料金変更も確認するとともに、差額切手の取扱いについても把握しておきましょう。

●取引先の与信管理の徹底

東京商工リサーチによると、7月の中小企業の倒産件数は953件（前年同月比で約26%増）でした。

物価高や人件費高騰に加えて、金利上昇のために、秋口以降の企業倒産は増勢局面に入ることが懸念されるとのことです。

取引先の経営状況に関する情報は、直接先方と接触している営業担当者から集めるのが最もよい方法です。

年末の資金需要期は、念入りに取引先の売掛金管理や与信管理を行ないたいところです。管理部門としても、営業担当者と密に連絡を取り合い、取引先に変化があった場合は、こまめに報告してもらうようにしましょう。

来月の計画を立てるために

▽3月決算法人の中間申告期にあたります

▽12月の年末調整の準備に取りかかります

October

10月の事務ごよみ



民族の音楽 Gracias A La Vida

「人生よありがとう」を意味するこの曲は、チリの女性フォルクローレ歌手ビオレータ・パラによってつくられた。彼女はチリ全土の忘れられた民謡を紹介しながら、

大衆音楽に社会正義と意識変革を訴える詞をのせ社会の変革を目指した「ヌエバ・カンシオン」という運動の先駆者であった。
(切絵・文＝前田尋)

◆2024 知財・情報フェア&コンファレンス

日時：10月2日～4日

場所：東京ビッグサイト

特許・実用新案・意匠・商標など知的財産を網羅する情報が、討論・会議・講演などを通じて発信される。

◆第27回 ものづくりワールド 大阪

日時：10月2日～4日

場所：インテックス大阪

機械要素技術展、工場設備・備品展、製造業 DX 展など、10の展示会からなるものづくりの総合展示会。

◆どぶろく祭り

日時：10月14日～19日

場所：岐阜県白川村

五穀豊穡を祈願する祭り。御神幸、獅子舞、民謡や舞踊などの神事が繰り広げられる。祭礼に神酒として「どぶろく」が用いられ、参加者にも振る舞われる。

◆松江祭囃行列

日時：10月20日

場所：島根県松江市

鼓面を上に向けた鑓（太鼓）を据えた山車を、チャンガラ（シンバルのような楽器）、笛を鳴らしながら引き回す。

◆IT・DX・AI 総合展

日時：10月23日～25日

場所：幕張メッセ

Japan IT Week、Japan DX Week、営業・デジタルマーケティング Week、EC・店舗 Week を同時開催する下半期最大の IT・DX 総合展。

◆伊万里トンテントン

日時：10月25日～27日

場所：佐賀県伊万里市

「荒神輿」と「団車」を、「トン・テン・トン」と打ち鳴らす太鼓を合図に戦わせるけんか祭り。



Event guide